

岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略

ちさんちしょう

～岩沼で生まれ・育ち・生きる（生きる）「地産地生」のまちづくり～

■まち・ひと・しごと創生とは

○今後予想される長期的な人口減少について、地域の特性を活かしながら活力ある社会を維持するための全国的な取組み。

■なぜ、まち・ひと・しごと創生か

- 人口が減少すると、経済活動に大きな影響。
- 身近な地域社会のあり方にも大きな影響。

■「地産地生（ちさんちしょう）」とは

- 岩沼で生まれた「ひと」や岩沼で暮らす「ひと」
- 岩沼で「しごと」をする人など
- 岩沼に縁がある「ひと」を育み
- これらの「ひと」が輝いて生きる（生きる）
- そういった岩沼らしい「まち」を形成

人口の現状と今後の予測

2015年9月末現在：44,256人



25年後（2040年）：39,177人



45年後（2060年）：32,346人

高齢化率(65歳以上が占める割合)は37.1%



※45年前（1970年）の総人口は29,822人。

※資料：『国勢調査』、『住民基本台帳』、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』

人口減少を抑制するための将来の方向

①しごとづくり

- 交通の要衝である立地特性を活かした「しごとづくり」

②ひとづくり

- 岩沼の魅力を的確かつ効果的に伝えるイメージアップ
- 新しい岩沼の担い手育成などによる「ひとづくり」

③まちづくり

- 岩沼に住み続けたい、移住したいと思える「まちづくり」

④市民がつくる「まち・ひと・しごと」

- 市民が主体となり、地域と地域が連携して課題を解決し、地域の価値を高められるよう地域力の向上に取り組む。

目標人口

25年後(2040年)に40,000人を維持

- 2040年(H52)：約40,100人
- 2060年(H72)：約34,200人

25年後(2040年)、45年後(2060年)も輝く岩沼へ

岩沼で生まれ・育ち・生きる(生きる)「地産地生」のまちづくり

岩沼で家族になろう!

- ◆ 結婚・出産への支援
- ◆ 地域の中での子ども・子育て支援の充実
- ◆ 学校を核とした教育機会の充実 など

魅力を伝えよう! 岩沼で暮らそう!

- ◆ イメージアップの推進
- ◆ 観光振興による交流人口の拡大
- ◆ 定住者確保に向けた取組の強化 など

岩沼でつながろう!

- ◆ 地域の担い手を育む環境整備
- ◆ 安全安心対策の強化
- ◆ ふるさと教育の充実
- ◆ 地域連携による地域力の向上 など

岩沼で仕事をしよう!

- ◆ 仙台空港等を活かした新たな産業振興
- ◆ 既存の企業や事業者の発展に向けた支援
- ◆ 強い農業づくり など

